

I. 連結決算の概要

1. 当中間期の業績

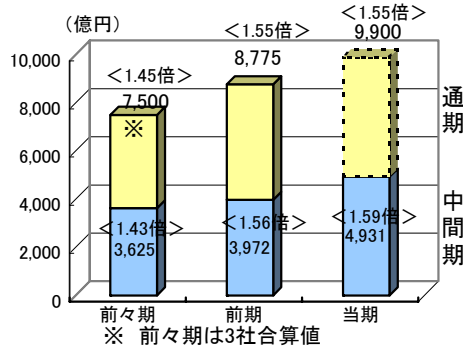
(単位:億円, %, ( )は売上高比率)

	当中間期 (18.4.1~18.9.30)	前中間期 (17.4.1~17.9.30)	増減額	増減率	通期予想 (18.4.1~19.3.31)	対前期 増減率
売上高	(100.0) 4,931	(100.0) 3,972	958	24.1	(100.0) 9,900	12.8
営業利益	(3.8) 186	(3.0) 118	67	56.8	(3.8) 380	12.5
経常利益	(4.2) 204	(3.5) 140	63	45.3	(4.0) 400	5.7
特別損益	※ 9	-	9	-	9	-
中間(当期)純利益	(2.4) 120	(1.9) 74	45	60.5	(2.2) 220	3.8
1株当たり中間(当期)純利益	64円15銭	39円97銭			117円52銭	
自己資本当期純利益率	* 17.4%	* 13.2%	*は12カ月換算		15.5%	
設備投資	213	212	0	0.3	510	1.0
減価償却費	138	95	43	45.3	270	26.5
連結子会社数	70社	66社	4社		70社	3社
持分法適用関連会社数	12社	13社	△1社		12社	△1社

※ 特別利益 : 米国子会社の健康保険料返戻金 840百万円、 固定資産売却益 99百万円

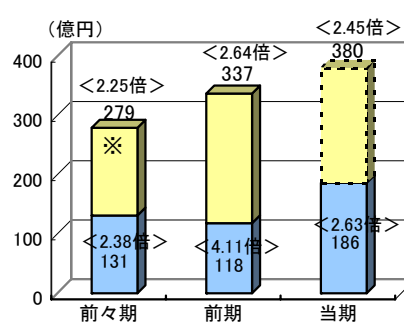
2. 売上高の推移

< >内は連単倍率



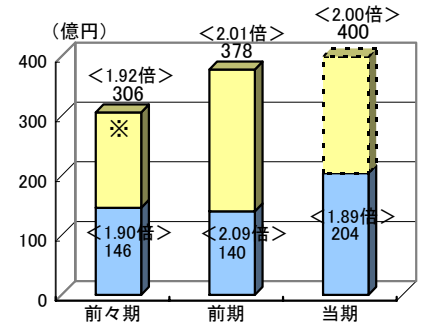
3. 営業利益の推移

< >内は連単倍率



4. 経常利益の推移

< >内は連単倍率



5. 売上高の内訳

(単位:億円, %, ( )は構成比率)

		当中間期 (18.4.1~18.9.30)	前中間期 (17.4.1~17.9.30)	増減額	増減率	通期予想 (18.4.1~19.3.31)	対前期 増減率
内装品	組替後 <組替前>	(89.7) 4,424	(88.3) 3,506	917	26.2	(89.8) 8,890	13.7
フィルター・ パートレイン部品	組替後 <組替前>	(7.2) 354	(8.2) 326	27	8.4	(7.0) 690	0.9
繊維・外装品他	組替後 <組替前>	(3.1) 153	(3.5) 139	13	9.5	(3.2) 320	17.2
合計		(100.0) 4,931	(100.0) 3,972	958	24.1	(100.0) 9,900	12.8

(注) 当期より内部管理上の区分を改めたことに伴い、一部の製品(シートベルト、エアバッグ基布・袋体等)について区分の組替をしております。

6. 経常利益の増減要因[対前中間期比較]

(単位:億円)

要 因	金額
増益	
・増産増収の影響	135
・合理化	82
・為替換算差益	9
計	226
減益	
・製品価格変動の影響	56
・労務費の増加	22
・製品構成の変化	20
・減価償却費の増加	15
・諸経費の増加	18
・新規連結子会社の影響	28
・営業外収支の減少	4
計	163
差引経常利益の増加	63

7. 貸借対照表[対前期末比較]

(単位:億円)

資産の部				負債・純資産の部			
科 目	当中間期	前期末	増減	科 目	当中間期	前期末	増減
流動資産	2,236	2,206	30	流動負債	1,992	1,987	4
現金預金	374	381	△6	買入債務	1,356	1,370	△14
売上債権	1,357	1,334	23	短期借入金	204	196	8
有価証券	13	17	△3	その他	432	420	11
棚卸資産	270	253	17	固定負債	304	313	△9
その他	220	220	△0	長期借入金	71	72	△1
固定資産	1,827	1,760	66	退職給付引当金	197	195	2
有形固定資産	1,524	1,456	67	その他	35	45	△9
無形固定資産	33	36	△3	(負債計)	2,297	2,301	△4
投資その他の資産	268	266	2	少数株主持分	-	332	△332
				株主資本	1,402	1,304	97
				資本金	84	84	-
				資本剰余金	90	90	0
				利益剰余金他	1,228	1,130	97
				評価・換算差額等	15	28	△13
				新株予約権	0	-	0
				少数株主持分	349	-	349
				(純資産計)	1,766	1,332	434
合計	4,063	3,966	97	合計	4,063	3,966	97

## II. 単独決算の概要

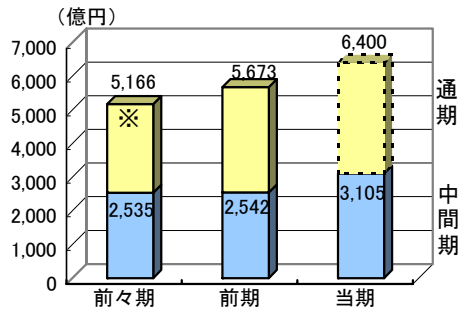
### 1. 当中間期の業績

(単位:億円, %, ( )は売上高比率)

	当中間期 (18.4.1~18.9.30)	前中間期 (17.4.1~17.9.30)	増減額	増減率	通期予想 (18.4.1~19.3.31)	対前期 増減率
売上高	( 100.0 ) 3,105	( 100.0 ) 2,542	563	22.1	( 100.0 ) 6,400	12.8
営業利益	( 2.3 ) 71	( 1.1 ) 28	42	145.6	( 2.4 ) 155	21.0
経常利益	( 3.5 ) 108	( 2.7 ) 67	41	61.1	( 3.1 ) 200	6.1
特別損益	※ 0	-	0	-	0	-
中間(当期)純利益	( 2.7 ) 83	( 2.3 ) 57	25	43.6	( 2.3 ) 145	9.2
1株当たり中間(当期)純利益	44円48銭	30円97銭			77円45銭	
自己資本当期純利益率	* 15.8%	* 12.4%	*は12カ月換算		13.4%	
1株当たり配当金	9円00銭	7円00銭	2円増配		18円00銭	2円増配
配当性向	20.2%	22.6%			23.2%	
設備投資	76	90	△ 14	△ 15.5	200	13.3
減価償却費	59	54	4	8.9	135	10.4

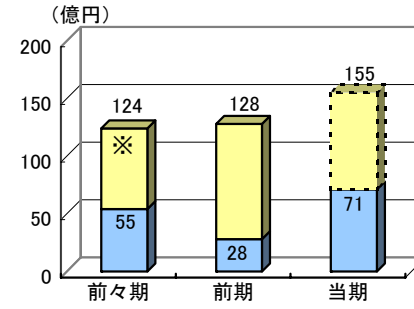
※ 特別利益 : 固定資産売却益 99百万円

### 2. 売上高の推移

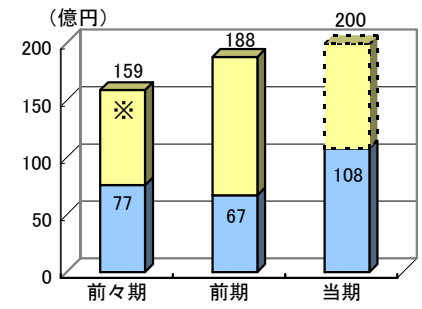


※ 前々期は3社合算値

### 3. 営業利益の推移



### 4. 経常利益の推移



### 5. 売上高の内訳

(単位:億円, %, ( )は構成比率)

	当中間期 (18.4.1~18.9.30)	前中間期 (17.4.1~17.9.30)	増減額	増減率	通期予想 (18.4.1~19.3.31)	対前期 増減率
内装品	( 89.4 ) 2,776	( 87.8 ) 2,232	544	24.4	( 89.7 ) 5,740	14.1
フィルター・ パートレイン部品	( 7.1 ) 219	( 8.3 ) 210	9	4.3	( 6.9 ) 440	2.1
繊維・外装品他	( 3.5 ) 109	( 3.9 ) 99	9	9.4	( 3.4 ) 220	4.0
合計	( 100.0 ) 3,105	( 100.0 ) 2,542	563	22.1	( 100.0 ) 6,400	12.8

(注) 当期より内部管理上の区分を改めたことに伴い、一部の製品(シートベルト、エアバッグ基布・袋体等)について区分の組替をしております。

### 6. 経常利益の増減要因[対前中間期比較]

(単位:億円)

要因	金額
増益	
・増産増収の影響	71
・合理化	49
計	120
減益	
・製品価格変動の影響	41
・製品構成の変化	20
・労務費の増加	10
・減価償却費の増加ほか	7
・営業外収支の減少	1
計	79
差引経常利益の増加	41

### 7. 貸借対照表[対前期末比較]

(単位:億円)

資産の部				負債・純資産の部			
科目	当中間期	前期末	増減	科目	当中間期	前期末	増減
流動資産	1,223	1,257	△ 33	流動負債	1,215	1,265	△ 49
現金預金	40	84	△ 43	買入債務	975	1,013	△ 38
売上債権	891	902	△ 11	その他	240	251	△ 11
有価証券	9	11	△ 2	固定負債	252	258	△ 5
棚卸資産	116	102	13	長期借入金	50	56	△ 6
その他	165	155	10	退職給付引当金	183	182	1
固定資産	1,335	1,296	39	その他	18	19	△ 1
有形固定資産	716	703	12	(負債計)	1,467	1,523	△ 55
無形固定資産	3	3	△ 0	株主資本	1,071	1,009	62
投資その他の資産	616	589	26	資本金	84	84	-
合計	2,558	2,553	5	資本剰余金	90	90	0
				利益剰余金	901	837	64
				自己株式	△ 4	△ 2	△ 2
				評価・換算差額等	18	20	△ 1
				新株予約権	0	-	0
				(純資産計)	1,090	1,029	60
合計	2,558	2,553	5	合計	2,558	2,553	5